

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
令和元年度第3回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和2年3月10日(火) 15時00分～17時00分

2 開催場所

本部事務所特別会議室

3 出席委員(敬称略)

委員長 清水 幹裕(弁護士)  
委員 青山 伸一(公認会計士)  
委員 小林 順治(監事)  
委員 大橋 玲子(監事)

4 議題

- (1) 令和元年度契約(平成31年4月～令和元年12月)の事後点検について  
(2) その他

5 審議概要

(1) 令和元年度契約(平成31年4月～令和元年12月)の事後点検について

審議対象期間における契約案件192件のうち以下の6件(競争性のある契約3件、競争性のない随意契約3件)を抽出し、競争性の確保等に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆契約件名：新国立競技場・車両の調達(2tトラック)

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
備品	78.96%	1	競争入札において応札者が1者のみ

◆契約件名：新国立競技場・車両の調達(軽自動車)

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
備品	77.59%	1	競争入札において応札者が1者のみ

※上記の2件については、類似案件として同時に審議した。

(質問) 両案件ともに、環境配慮契約法により推奨されている総合評価落札方式で調達を実施したとのことであるが、どういったことか。

(回答) 環境配慮契約法に基づく基本方針では、国や独立行政法人等において自動車の購入等を行うに当たっては、入札価格及び環境性能を総合的に評価して、最も優れた製品やサービス等を提供した者と契約を締結することが基本的事項とされているものである。

(質問) 一者応札となった原因は何であると考えなのか。

- (回答) 現時点では思い当たる原因はない。
- (回答) 両案件ともに、一般的な仕様であり、車種の指定もしていない。契約依頼部署としても一者応札となってしまったことに驚いている。
- (意見) 引き続き一者応札となった原因等の分析に努めていただきたい。
- (回答) 御意見について承知した。

◆契約件名：新国立競技場什器・備品の調達（自動体外式除細動器（AED））

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
消耗品	6.25%	4	競争入札において落札率が50%以下

- (質問) 予定価格はどのように作成したのか。
- (回答) 最も低かった参考見積額に掛率0.5を乗じた額を予定価格とした。
- (質問) 掛率を0.5とした根拠は何か。
- (回答) 最も低い参考見積額を提示した業者に対してヒアリングを行い、その結果を踏まえて決定した。
- (質問) 予定価格を作成する際には、落札者からも参考見積書の提出を受けていたのか。
- (回答) 提出を受けていた。ただし、今回の予定価格は、落札者とは別の者から提示された最も低い参考見積額を基に作成されたものである。なお、参考見積額は定価で記載するとの業界の慣行があるとのことであり、AEDの調達については、参考見積額と入札価格とが乖離する傾向があると考えている。
- (意見) 今後、同様の調達を行う場合は、業界の慣行や過去の調達状況等について十分に考慮して、予定価格の作成に用いる掛率等を検討してはどうか。
- (回答) 御意見について承知した。

◆契約件名：スポーツくじ広告宣伝に係るデータマネジメント・プラットフォームの導入・構築及び運用保守

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
役務	99.88%	1	不落随意契約

- (質問) 資料配付を受けたが参加申請をしなかった9者について、その理由を確認したか。
- (回答) 仕様書に「選定サービス」として「Treasure Data」というサービスを記載した。今回資料配付を受けた者には、当該サービスを取り扱っている者が少なかったと思われる。
- (質問) 「Treasure Data」という固有名詞を記載せずに調達することはできなかったのか。
- (回答) 海外で取り扱われているサービスでは要件に合うサービスがあったかもしれないが、少なくとも日本国内で取り扱われているサービスに限れば、要件に合うサービスは「Treasure Data」以外に見当たらなかった。
- (意見) 仕様書には、製品名ではなく機能要件を記載することが原則である。「Treasure Data」に相当するサービスが存在しないとまではいえないということであれば、製品名を記載するとしても「選定サービス」ではなく「参考」等として記載する方が望ましいのではないか。
- (回答) 御意見について承知した。

◆契約件名：基幹システム賃貸借延長

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
借上げ	100.00%	1	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

(質問) 再リース料はどのように決定されるか。

(回答) 一般的に原リース料の10分の1程度となっている。当該再リース契約についても同様である。

(意見) 特になし

◆契約件名：非公表

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
非公表	非公表	非公表	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

(質問) 平成30年度と比べて令和元年度の落札率が低くなっている要因は何か。

(回答) 本件は、再委託事業の実施に当たり締結された契約である。当該契約の相手方が再委託事業実施計画書で示した経費予定額が、公募要領で示された予算額を大きく下回ったという状況である。なお、評価委員会は、再委託事業実施計画書についても審査・評価を行っている。

(回答) 予算額の範囲内で有効な提案を行った者と契約するものであり、企画競争と同様の考え方である。

(意見) 特になし

(2) その他

◆例示品の取扱いについて（令和元年度第1回契約監視委員会における意見への対応状況）

JSCにおける対応を検討するに当たっては、他の独立行政法人や文部科学省における状況を確認した。その状況を踏まえ、JSCでは、両監事にも相談の上、仕様書に例示品を記載する場合には、なるべく「2品以上」の例示品を記載することとする取扱いとした。当該取扱いについては、全ての部署に周知した。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

(質問) 取組を評価したい。なお、資料では、「例示品を1品のみ記載することが競争性を阻害するおそれがある場合においては、例示品を2品以上記載するようにしてください」とあるが、「競争性を阻害するおそれがあるので」と断定した方が良いのではないかと。契約依頼部署がどのような場合に2品以上記載すべきなのか迷うのではないかと。

(回答) 御指摘の点については承知した。例示品の取扱いについては、今後も各部署への説明を行っていく予定であるため、御指摘の点については検討したい。

(意見) 特になし

6 主な意見

- ・一者応札となった案件については、引き続き原因等の分析に努めること。
- ・今後、低落札率となった案件と同様の調達を行う場合は、業界の慣行等について十分に考慮

して、予定価格の作成に用いる掛率等を検討すること。

- ・仕様書には、製品名ではなく機能要件を記載することが原則である。製品名を記載するとしても、「選定サービス」ではなく「参考」等として記載する方が望ましい。